

平成31年（令和元年）度事業報告書

認定NPO法人 岡山きのこ・あったか会

1 事業の成果

本認定NPO法人は（1）特定非営利活動に係る事業のみを行っており、（2）営利活動に係る事業は行っていない。以下、特定非営利活動を構成する4つの事業（①心のケアに関する事業、②必要な研究調査、開発及び提供事業、③ファシリテーターの育成事業、④その他目的を達成するために必要な事業）の活動内容と成果について述べる。

① 心のケアに関する事業

心のケア事業の目的は、在宅及び病院や福祉施設で療養中の病人とその家族・友人及び医療従事者を対象に、心理学に関する専門的知識及び臨床技術や東洋医学に関する専門的知識及び技術をもって、対象者を支援する。最終的には予防までも含めたホリスティックな心のケアを目指す。ここで使われる心理療法は、マインドフルネスを含む認知行動療法（Acceptance and Commitment Therapy ; ACT）や箱庭療法などの投影法である。内容は主に、①対象者の心理状態を観察し、その結果を分析すること。②対象者の相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと。③対象者本人に限らず、その関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことなどである。最後に、心のケアの一端として東洋医学的療法（鍼、きゅう）が臨床像により実施されることがあるが、その場合には国家資格保持者がその施術にあたる。

心のケアの事業は大きく「個人セラピー」と「集団セラピー」の2つに分かれる。「個人セラピー」は個人を対象とし、「集団セラピー」は集団に対して行う。個人セラピーは1回が約90分間であり、週4日（火・水・土・日）の午前・午後のうちからクライアントが任意に選択して電話・メール等で予約をして、当会事務局心理療法室にて行われる。「集団セラピー」には『高齢者クラス』、『ビジネス・クラス』、『ヨガ・瞑想クラス』の3クラスがある。下記の表を参照。

	月	火	水	木	金	土	日
個人		セラピー	セラピー			セラピー	セラピー
集団			ヨガ・瞑想	高齢者		ビジネス	

[個人セラピー]

個人セラピーへの入り口は以下の3通りである。（1）対象者自身もしくはその家族や関係者が当会の広報を手掛かりに電話やメールで直接予約をとる方法。（2）会員からの紹介。（3）医療機関

や相談機関からの紹介である。個人セラピーは、基礎の行動分析学から臨床に発展してきた機能的文脈主義の哲学をくむ認知行動療法（Acceptance and Commitment Therapy ; ACT）である。これは近年脚光を浴びているマインドフルネス瞑想を含む。セラピーは1回90分枠で4週間に1度の頻度で継続して行われる。定期的に心理査定を行いセラピーの効果の有効性を検討する。対象や状況によっては、投影法（箱庭療法やアートセラピー）や鍼灸を実施する場合もある。それらはACTが停滞し効果が見られなくなった（節目に至った）場合である。投影法により潜在意識の顕在化を図ったり、ACTの技法（クライアントの生きる『価値のセラピー』）を使って方向性を探る場合である。一言でいえば、ホリスティックに心のケアを行っていく。例外は、心理査定の結果により抗精神薬が必要であろうと判断される場合は連携する精神科に紹介を行って、薬物療法と心理療法の併用療法を行うことがある。

この数年、医療機関からの紹介で、特にマインドフルネスを希望来訪されるケースが見受けられるようになった。具体的には慢性疼痛である。主訴（疼痛）はあっても医学的な原因が何も見つからず患者はドクターショッピングを繰り返すが、保険診療では何度やっても同じ結果に帰着することが多い。これは膨大な医療コストとして国家予算に上がってきている。岡山大学病院では2011年より慢性疼痛の特殊外来が設置され臨床研究がなされてきた。当会は、症例数こそ少ないが医療連携で紹介を受け入れてきた。他の心理療法では難しいのが、マインドフルネス療法により約半数は何らかの形で功を奏し社会復帰につながった。身体疾患の比率が高いケースについては医師と共同して心身医学会地方会（山口大学医学部）にて報告を行った。また、身体表現性で疼痛となっているケースでは母子二人別々に行うセラピーが必要であった。R元年度は年間168回の開催（昨年度より11回の増加）、延べ172人の利用（昨年度より15人の増加）があった。（文責：阿多敏江）

【集団セラピー】

『高齢者クラス』は会の中では一番古い集団セラピーのクラスである。前身は阿多敏江心理士が博士課程中に在籍していた岡山大学病院精神科神経科の認知症患者の患者会（患者と介護者がペアで参加する介護者のうつ病・認知症予防の会『あったか会』）と、それと同時期に心理介入を行っていた岡山県笠岡市の「きのこエスポアール病院」の患者会の介護者たちが共働して、H19年6月、介護者たちの強い要望と岡山大学医学部・文学部や関係する大学の教授たちの協力により本NPO法人が自然発生的に設立され、現在の認定NPO法人に至っているという経緯がある。（文責：阿多敏江）

R元年度は、高田美穂氏（認定マインドフルネス・ファシリテーター、ヨガ・インストラクター）がクラス運営を担当し、年間39回開催（3月は新型コロナ流行のため休止。昨年度より3回減少）。延べ188人の参加があった（昨年より3名減少）。以下、高田氏よりの報告を記載する。（文責：小橋了子）

日程：毎週木曜に開催。5週目がある時は参加者で話し合い、休みをいつにするか皆で決める。

場所：岡山県ボランティア・NPO活動支援センター ゆうあいセンター、2F小会議室。

講師：高田美穂

目的：高齢者の心や体の健康の維持（うつ病や認知症の予防）

介護者への心のケア（介護負担の軽減やうつ病の予防を図る）

内容：椅子で行う高齢者ヨガ、マインドフルネス瞑想、写経、茶話会

予想される効果：

身体がほぐれて、血流やリンパの流れが良くなる。

自分の身体に対する意識を高める。

筋力の低下を軽減し、向上を促す。バランス力の向上を促す。

心を穏やかにし、不安を軽減する。うつ病を予防する。集中力を高める。等

参加者の感想：

- ① 週1回の楽しみに参加している。なじみのある顔ぶれでヨガ、瞑想、写経を楽しむ時間があるから元気で居られる。
- ② あったか会・高齢者クラスに魅力を感じる。少人数で親しい人とヨガ、瞑想、写経、お茶をする時間はとても楽しく、健康を維持するのにも役立っている。
- ③ 人生の先輩方がこのクラスに参加して元気に過ごされている事があったか会の活動、このクラスの効果だと思う。
- ④ マインドフルネスやヨガを通して東洋医学の考えに基づいた季節に合う過ごし方などの話を聞いていると、『あるがまま』を否定せず受け入れるという事が普段の生活の中でも助けになっている。（文責：高田美穂）

次に、『ビジネス・クラス』は、H29年度より月1回から毎週土曜日へと会員の要望に応じて実施頻度を増やしている。したがって、従事する指導者の数も増えて阿多敏江氏（公認心理師）、桜木生子氏（認定マインドフルネス・ファシリテーター）、小橋了子氏（同）、高田美穂氏（同）、寿淵佳子氏（同）、児子恭子氏（同）の6名の持ち回りにより45分間のマインドフルネス療法集団セラピーが実施されている。

このクラスの特徴は専門職もしくは高学歴者の参加者が多いことである。例えば、看護師、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、管理栄養士、臨床工学士、臨床心理士、精神保健福祉士、税理士等である。少数ではあるが認定マインドフルネス・ファシリテーター資格取得を目的に参加する者もある。これは規程の学科単位（放送大学で修得する）と44回の経験と最終面接で取得できる。近年、マインドフルネス瞑想は世界的趨勢となっており、欧米の医療機関はもとより米国政府機関やグーグル社やアップル社でも取り入れていると聞く。精神安定、集中力を向上させ、慢性うつ病患者の再発予防やパニック障害、社会不安等に効果があると報告されている。このクラス参加者への効果は会の皆が認めるところである。症状の改善を望むならマインドフルネス瞑想を毎日実践す

る必要があるが、「毎日一人でマインドフルネスをする」のはなかなか難しい。ストイックに孤独に続けるよりも仲間と一緒に座ることで継続は随分と楽になるだろう。年間31回の開催（3月は新型コロナ流行のため休止。昨年度より8回減少）、延べ104人の参加（昨年度より21人の減少）。

（文責：桜木生子・小橋了子）

『ヨガ・瞑想クラス』は、H28年1月より開始された会の中では最も新しいクラスである。会員の要望で、昼間仕事をしていてなかなか瞑想をすることが出来ない人が対象のクラスである。ヨガで身体を十分に緩めてからマインドフルネス瞑想に入ること、短時間で簡単に効果的に瞑想状態を得ることができる。H31年度は、高田美穂氏（認定マインドフルネス・ファシリテーター、全米アライアンス・ヨガ・インストラクター有資格者）がクラス運営を担い、年間38回の開催（3月は新型コロナ流行のため休止。昨年度より1回の減少）、延べ122人の参加（昨年度より52人の増加）。

日程：毎週水曜日 18:00～20:00

場所：岡山きのこ・あったか会事務局 瞑想室（和室8畳）

目的：仕事や、日常の役割を頑張っている世代の身体の疲れやだるさの改善、筋力や柔軟性、バランス力の向上。良い睡眠が取れるよう、緊張の緩和、不安やうつ病の予防、改善を図る。

内容：やさしいヨガ（60分間）、マインドフルネス瞑想（15分間）

効果：身体がほぐれ、血流やリンパの流れが良くなる。自分の身体に対する意識を高める。心と体のリフレッシュ。筋力の向上を促す。バランス力の向上を促す。集中力や柔軟性を高める。心を穏やかにし、不安を軽減する。うつ病を予防する。などの効果が期待出来る。

感想：週一回の身体をケアする時間になっている。自分が不調な部分に合ったポーズも提案してくれるので、クラスが無い日にも自己メンテナンスが出来て助かる。とてもリフレッシュできるのでこれからも参加したい。などの声がありました。（文責：高田美穂）

その他の[こころのケア]には、会員相互の親睦会として『夏の日帰りセミナー』、『忘年会』、『お雛祭り』がある。これらの事業では会員対象のトークン・エコノミー・システムが運用される。トークン・エコノミー・システムとは、人が人に対して行う親切を目に見える形（トークン券）にして感謝の気持ちを表し、相手の優しい気持ちに報いることを目的とする。これは、会が行動分析学に基づいて人間の行動原理を推測し、良い社会を作ろうと意図して行っているもので、「善行」がリサイクルされ、奉仕者のバーンアウトを防ぐことができる有効なシステムである。トークン券は年1回一人5千円の寄付をすると会から「500a la券」10枚分が無償で貰える。それを循環して使用することで効果が上がる。トークン券は会に戻ってきた時にその役目を終える。

8月1日『夏の日帰りセミナー』：（真庭市真賀温泉）参加者8人。12月7日『忘年会』：（岡山市『は

むら』) 参加者15人。3月7日『雑祭り』:(笠岡市『お多津』) 参加者6人。 (文責:小橋了子)

② 必要な研究調査、開発及び提供事業:

- (1) R1.10.27 第43回心身医学会中四国学会(於:山口大学医学部)で阿多敏江氏が口頭発表を行った。演題『慢性疼痛を伴う胸椎クモ膜下嚢腫、CD36欠損症の患者に対するマインドフルネス介入2』。H30年に日本マインドフルネス学会(早稲田大学)にてポスター発表した『慢性疼痛を伴う胸椎クモ膜下嚢腫、CD36欠損症の患者に対するマインドフルネス介入』の続報。小橋了子氏は参加。
- (2) R2.2.15 岡山大学病院患者支援センター主催の2019年度第2回岡山県ピアサポータースキルアップ研修(於:岡山大学病院 マスカットキューブ3F)で阿多敏江氏が講師を務めた。演題は『ピア・サポーターのメンタルヘルス~心を整えるマインドフルネス~』、出席者は約40名。
- (3) R1.5.12 CBT研究会(於:名古屋市中京大学)のACTとマインドフルネスの研修に阿多敏江氏と小橋了子氏が参加した。 (文責:阿多敏江)

③ ファシリテーターの育成事業:

[マインドフルネス・セミナー旅行]

『マインドフルネス・セミナー旅行』は、お遍路を含む1泊2日の旅行で春・秋2回、大自然の息吹を感じながらマインドフルネスを体得していただくものである。本年度は、4/6~4/7「春のセミナー旅行」(香川県高松市)参加者10名。そして、11/9~11/10「秋のセミナー旅行」(徳島県阿波市)参加者9名であった。

[家族会・勉強会]

『家族会・勉強会』は、毎月第2日曜日に開催される勉強会で、古くからの会員でお茶事の心得もある難波恵子氏を講師に料理の秘訣を学ぶものである。細かい計量にこだわらず、長年の経験に基づいた自慢のレシピをわかりやすく披露してもらうため、各自で家庭の味として楽しめる内容になっている。調理後の食事会は阿多敏江心理士を含め会員との良き談笑の場となっている。高齢の元気な先輩会員から刺激を受けて、会全体も活気を貰っている。参加者の感想としては「ばら寿司は自分ではなかなか作れないので良かった」「この会でばら寿司を食べられるのを楽しみにしている」「家でもやってみようと思う」「みんなで作って、みんなで食べるのが嬉しい」などがあがっている。講師からは「大勢で食べてもらえて良かった」との声があった。全2回開催され、延12人の参加があった。場所はあったか会事務局2Fダイニング・キッチン。 (文責:児子恭子)

[生涯学習大学連携講座]

前年度に続きR元年度も岡山県生涯学習大学連携講座に「マインドフルネス瞑想講座（全5回）」を提供した。この講座は岡山県生涯学習大学と連携して、廉価に一般市民に公開されるものである。

日時：6/8、7/6、9/7、10/5、11/2（10時～12時）

場所：東山公園集会所

講師：阿多敏江公認心理師

費用：1回千円

目的：広く一般市民にマインドフルネス瞑想に触れる機会を提供する。誰でも瞑想が体験できるようにプログラムを用意する。マインドフルネス経験者が初心に戻ってリフレッシュ・トレーニングできる場をつくる。

内容：マインドフルネス瞑想の基本技法を実技のみ行って教える。

近年マインドフルネス瞑想はますます注目されてきており、興味をもつ人も増えている。マインドフルネス瞑想の修得には経験者からの指導を受けながら実践することが必要不可欠であるが、そういった場はまだ少ない。当法人はマインドフルネスが現在のように注目を集める以前より、長年に渡ってマインドフルネス瞑想を実践してきており、マインドフルネス瞑想を実践に基づいて科学的に教えることができる数少ない団体の1つである。会員以外の参加者からは「TVでマインドフルネスを知り、興味をもったが、どうやったらよいのかわからなかった」「マインドフルネスを教えてもらえる場を探していた。Webでこの講座を見つけた」といった声が多くあり、県北や島根県など遠方からの参加者もいた。マインドフルネス瞑想に対する需要が高まっていること、それに対してきちんとマインドフルネスを学べる場が少ないことを実感した。今後、こういった講座の必要性はますます高まると考えられるため、R2年度も引き続き実施予定。延61名が参加。

（文責：小橋了子）

③ 広報及び普及啓発事業：

本会ホームページ（<http://www7b.biglobe.ne.jp/~attaka/>）、日本財団の公益コミュニティサイト（http://canpan.info/open/dantai/00003692/dantai_detail.html）、岡山の公益ポータルサイト（http://npokayama.canpan.info/dantai_list.html）の更新と管理を継続して行った。管理者は森川博子氏。

以上

2 事業の実施に関する事項（注：特定非営利活動のみ行う）

令和元年度事業報告書

(1) 特定非営利活動に係る事業

認定NPO法人 岡山きのこ・あったか会

定款 の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者 の 人数	受益対象者 の範囲 及び人数	支出額 (円)
① 心のケアに 関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・集団セラピー (高齢者クラス) ・集団セラピー (ビジネス・クラス) ・集団セラピー (ヨガ・瞑想クラス) ・個人セラピー ・忘年会 ・雑祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日 (全 39 回) ・毎週土曜日 (全 31 回) ・毎週水曜日 (全 38 回) ・予約制 (全 168 回) ・12/7 ・3/7 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県きらめきプラザ 2F 小会議室 ・事務局 瞑想室 ・事務局 瞑想室 ・事務局 心理療法室 ・岡山市 日本料理『はむら』 ・笠岡市 茶寮『お多津』 	<ul style="list-style-type: none"> 2 人 1 人 1 人 1 人 2 人 1 人 	<ul style="list-style-type: none"> 市民一般 延 188 人 市民一般 延 104 人 市民一般 延 122 人 市民一般 延 172 人 15 人 6 人 	6,185,492
② 研究調査、 開発及び 提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本心身医学会 ・第 2 回岡山県ピアサ ポータースキル研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・10/27 ・2/15 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県 山口大学医学部 ・岡山大学病院 	<ul style="list-style-type: none"> 2 人 1 人 	<ul style="list-style-type: none"> 市民一般 ピアサポーター 40 人 	335,070
④ ファシリテーター の 育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・春のセミナー ・夏の日帰りセミナー ・秋のセミナー ・家族会・勉強会 料理教室(全 2 回) ・生涯学習大学連 携講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/6～4/7 ・8/1 ・11/9～11/10 ・毎月第2日曜 (全 2 回) ・6～12 月 (全5回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県高松市 ・真庭市「真賀温泉」 ・徳島県阿波市 ・あったか会事務局 2F ダイニング・キッチン ・東山公園集会所 	<ul style="list-style-type: none"> 2 人 1 人 2 人 2 人 1 人 	<ul style="list-style-type: none"> 市民一般 延 10 人 市民一般 延 8 人 市民一般 延 9 人 市民一般 延 12 人 市民一般 延 61 人 	1,001,168
⑤ 広報及び 普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの開設 ・日本財団公益コミュ ニティへの登録 ・岡山の公益ポータル サイトへの登録 ・会報の発行(季刊) 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続 ・継続 ・継続 ・継続 	<ul style="list-style-type: none"> http://www7b.biglobe.ne.jp/~attaka/ http://canpan.info/open/dantai/00003692/dantai_detail.html http://npokayama.canpan.info/dantai_list.html 	<ul style="list-style-type: none"> 1 人 1 人 1 人 2 人 	<ul style="list-style-type: none"> 市民一般 不特定 多数 	240,000

様式例（法第28条第1項関係「前事業年度の計算書類（活動計算書）」①

令和元年度 活動計算書
R元年 4 月 1 日から R2 年 3 月 31 日まで
認定特定非営利活動法人岡山きのこ・あったか会
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	200,000	
一般会員受取会費	18,000	
賛助会員受取会費	20,000	238,000
2. 受取入会金		
受取入会金	25,000	25,000
3. 受取寄附金		
受取寄附金	8,601,900	8,601,900
4. 事業収益		
心のケア事業収益	379,600	
研究調査開発事業収益	0	
フッテージ育成事業収益	581,341	
広報普及啓発事業収益	0	960,941
5. その他収益		
受取利息	0	
雑収益	0	0
経常収益計		9,825,841
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	520,000	
アルバイト給料	63,000	
謝金	10,000	
人件費計	593,000	
(2) その他経費		
業務委託費	6,000,000	
旅費交通費	657,989	
保険料	29,219	
備品消耗品	239,299	
事務用消耗品	0	
諸会費	17,000	
会議費	19,604	
施設利用料	21,580	
リース料	45,759	
食材食料費	134,042	
接待交際費	4,238	
地代・家賃	0	
試験研究費	0	
その他経費計	7,168,730	
事業費計	7,761,730	7,761,730
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	368,900	
アルバイト給料	72,300	
福利厚生費	0	
人件費計	441,200	
(2) その他経費		
通信費	463,989	
水道光熱費	210,653	
旅費交通費	344,640	
会議費	93,904	
事務用消耗品費	0	
備品消耗品費	68,293	

	地代 家賃	300,000		
	研修費	1,000		
	修繕費	6,230		
	諸会費	6,750		
	租税公課	5,000		
	慶弔費			
	支払手数料	4,710		
	雑費	30,000		
	その他経費計	1,535,169		
	管理費計	1,976,369	1,976,369	
經常費用計				9,738,099
	当期經常増減額			87,742
III 經常外収益				
1. 固定資産売却益		0		
經常外収益計			0	
IV 經常外費用				
1. 過年度損益修正損		0		87,742
經常外費用計			0	0
	税引前当期正味財産増減額	0		87,742
	法人税、住民税及び事業税			0
	当期正味財産増減額			87,742
	前期繰越正味財産額			103,390
	次期繰越正味財産額			191,132

様式例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

令和元年度 貸借対照表

令和2年3月31日現在

認定特定非営利活動法人岡山きのこ・あったか会
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金・預金		
現金	67,398	
普通預金	103,814	
通知預金	0	
小口現金	0	
現金・預金計	171,212	
売上債権		
未収金	5,000	
売上債権計	5,000	
棚卸資産		
貯蔵品	38,150	
棚卸資産計	38,150	
その他の流動資産	0	
前払費用	0	
その他の流動資産計	0	
流動資産合計		214,362
資産合計		214,362
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	23,230	
前受金	0	
流動負債合計	23,230	
負債合計		23,230
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	103,390	
当期正味財産増減額	87,742	
正味財産合計		191,132
負債及び正味財産合計		214,362

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2. 会計方針の変更

省略

3. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	A事業費	B事業費	C事業費	D事業費	事業部門計	管理部門	合計
	心のケア	研究調査	育成	広報			
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	263,000	263,000
2. 受取寄附金	1,668,500	0	93,000	240,000	2,001,500	6,600,400	8,601,900
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0	0	0
4. 事業収益	379,600	0	581,341	0	960,941	0	960,941
5. その他収益	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	2,048,100	0	674,341	240,000	2,962,441	6,863,400	9,825,841
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	280,000	0	0	240,000	520,000	368,900	888,900
アルバイト給料	63,000	0	0	0	63,000	72,300	135,300
謝金	10,000	0	0	0	10,000	0	10,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	353,000	0	0	240,000	593,000	441,200	1,034,200
(2) その他経費							
業務委託費	5,400,000	300,000	300,000	0	6,000,000	0	6,000,000
通信費	0	0	0	0	0	463,989	463,989
水道光熱費	0	0	0	0	0	210,653	210,653
旅費交通費	25,240	18,070	614,679	0	657,989	344,640	1,002,629
接待交際費	0	0	4,238	0	4,238	0	4,238
保険料	24,080	0	5,139	0	29,219	0	29,219
備品消耗品	230,965	0	8,334	0	239,299	68,293	307,592
事務用消耗品	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	17,000	0	0	17,000	6,750	23,750
会議費	7,630	0	11,974	0	19,604	93,904	113,508
施設利用料	4,680	0	16,900	0	21,580	0	21,580
リース料	42,519	0	3,240	0	45,759	0	45,759
食材食糧費	97,378	0	36,664	0	134,042	0	134,042
研修費	0	0	0	0	0	1,000	1,000
地代・家賃	0	0	0	0	0	300,000	300,000
修繕費	0	0	0	0	0	6,230	6,230
租税公課	0	0	0	0	0	5,000	5,000
慶弔費	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0	4,710	4,710
雑費	0	0	0	0	0	30,000	30,000
試験研究費	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	5,832,492	335,070	1,001,168	0	7,168,730	1,535,169	8,703,899
経常費用計	6,185,492	335,070	1,001,168	240,000	7,761,730	1,976,369	9,738,099
当期経常増減額	-4,137,392	-335,070	-326,827	0	-4,799,289	4,887,031	87,742

4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

省略

5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
会計の計算書類の作成	30,000円	一般的な税理事務所の基準に準拠して算定

様式例（法第28条第1項「前事業年度の財産目録」）

令和元年度 財産目録

令和2年3月31日現在

認定特定非営利活動法人岡山きのこ・あったか会
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金・預金		
現金	67,398	
普通預金	103,814	
通知預金	0	
小口現金	0	
現金・預金計	171,212	
売上債権		
未収金	5,000	
売上債権計	5,000	
棚卸資産		
貯蔵品	38,150	
棚卸資産計	38,150	
その他の流動資産		
前払費用	0	
その他の流動資産計	0	
流動資産合計		214,362
資産合計		214,362
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	23,230	
前受金	0	
流動負債合計		23,230
負債合計		23,230
正味財産		191,132

前事業年度の役員名簿

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

認定NPO法人 岡山きのこ・あったか会

No.	役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	あ 阿多 雄之 <small>あ 阿多 雄之</small>		H31年4月1日 ～ R2年3月31日	無
2	副理事長	さ 佐々木 健 <small>さ 佐々木 健</small>		H31年4月1日 ～ R2年3月31日	無
3	副理事長	かねみつ 金光 義弘 <small>かねみつ 金光 義弘</small>		H31年4月1日 ～ R2年3月31日	無
4	理事	あ 阿多 敏江 <small>あ 阿多 敏江</small>		H31年4月1日 ～ R2年3月31日	無
5	理事	やまもと 山元 敏嗣 <small>やまもと 山元 敏嗣</small>		H31年4月1日 ～ R2年3月31日	無
6	監事	よしだ 吉田 陽介 <small>よしだ 吉田 陽介</small>		H31年4月1日 ～ R2年3月31日	無